

本会議から付託された議案3件を審査するため、令和2年4月28日に文教福祉委員会を開催しました。

承認第1号 専決処分の承認を求めることについて (令和元年度総社市一般会計補正予算(第8号))

～内容～

本委員会の所管に属する部分は、市債等の確定に伴う補正及び小中学校の情報通信ネットワーク環境施設整備事業の繰越明許費補正(追加)が主なもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で承認すべきであると決定した。

承認第5号 専決処分の承認を求めることについて (総社市国民健康保険税条例の一部改正)

～内容～

関係政令が公布されたことに伴い、総社市国民健康保険税条例について早急に改正を加える必要が生じたもの。

～結果～

質疑、討論もなく、全員一致で承認すべきであると決定した。

議案第32号 令和2年度総社市一般会計補正予算(第2号)

～内容～

本委員会の所管に属する部分は、新型コロナウイルス感染症の対策としての備品購入費や子育て世帯への臨時特別交付金の計上が主なもの。

～結果～

次のような審査の結果、全員一致で原案を可決すべきであると決定した。

～質疑～

問：ネット授業は本当にいい事だと考えているが、ネット依存に陥りやすいこともある。その点はどう考えているのか。何か対策は考えているのか。

答：動画が長時間にならないように配慮している。一つの授業が5分程度となる。脳の発達や健康被害に注意し、短時間で効率的に学べるようにする。今まで情報モラル教育を行なってきたおり、これまでの取組がこの緊急時にいかされると期待している。

問：児童クラブ用にマスクを3,000枚購入することだが、どう使うつもりなのか。

答：児童は基本的には布マスクをを使っていて、布マスクを忘れた時等に使う予定である。

問：児童クラブの指導者は不安な中で、毎日児童に接している。その点はどう考えているのか。

答：児童クラブが密になるようなら、学校施設の開放であるとか運動場の開放であるとか、その都度学校や教育委員会と協議し対応している。日々実態を把握し、学校で受け入れたり、児童クラブで受け入れたり、分担しながら対応している。

問：学習支援動画は学校の先生が考えて作るのか、それとも業者に作ってもらうのか。また内容はどう考えているのか。

答：業者に協力はしてもらうが、授業は市内の小中学校の先生が行う。子ども達が通う学校の先生が授業をすることが大切だと考えている。

問：ネット環境がない子どもたちはどうするのか。

答：家庭にネット環境がない子どもは 8.8%である。学校のコンピューター教室を開放し、そこで授業動画を見るようにする考えである。